

葛飾区の堀切に
やってきました

大学のゼミで東京の
皮革産業について
調査をしているのですが…

問屋さんやメーカーさんの
口から出て来るある言葉が
気になったのです

それは
「長坂の革」

葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

一体どんなものなのか…？
その革をつくっている
という長坂染革(株)に
取材を申し込みました

表情のある革づくり ～染色・加工皮革素材～ 長坂染革株式会社

作・公所 弘真

まず基本的な
ことを説明すると
弊社の業務内容は
革の染色や加工
そして販売です

よろしく
お願いします

ようこそ
社長の
長坂です

長坂守康社長

動物から革をとる…
いわゆるなめすのとは
ちがうんですか？

※なめす…
動物の皮から脂肪や
タンパク質を取り除き
耐久性や柔軟性を
持たせること



※タンナー…
なめしを行う
業者

それはタンナーさんの
仕事ですね

弊社がやっているのは
なめした革を揉んだり
油を染み込ませたり
色を染めたりして

靴や鞆などを
つくる材料の
状態にすること

そうやって加工した革を
問屋さんやメーカーさんに
卸しているんです

その問屋さんや
メーカーさんは
「長坂の革」はわかるって
言ってたんです
「長坂の革」
ってなんなん
ですか？

そう
言われると
難しいですが…

うん

弊社が
やっていることを
一言でいうと

「表情のある
革づくり」
ということになる
かもしれません

表情のある
革…？

本来の味を
活かす

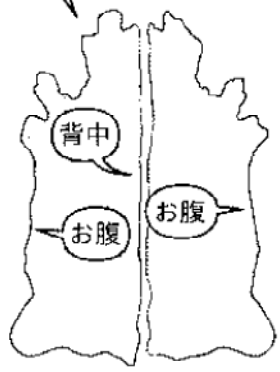
感触を
重視する

色に深みを
持たせる

色々ありますが
などなど

まず材料になる革は
主にキップのヌメ革を
使用しています

産の
コブ牛
バングラディッシュ



一頭の牛から二枚とれる

キップというのは
カーフ(仔牛の革)と
ステア(成牛の革)の
中間でカーフに近い肌目と
ステアのような大きさを
両者の良い所を合わせた
ような革なんです

ヌメ革というのは
植物に含まれる
タンニンという
成分に浸して
なめした革の
ことで…

環境に優しく
また使うほど
馴染んでいく
いわゆる
「革らしさ」に
秀でています

そのキップのヌメ革に
様々な加工を施す
ことによって「表情」を
つけていくんです



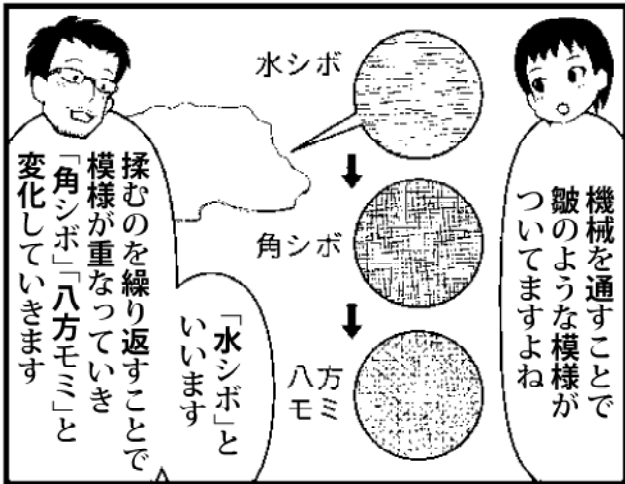
2つのローラーで擦られることで革がほぐされて柔らかくなります

これは革を揉む「揉みシボ」という加工を行う機械です



アイロン…油圧を利用して革を伸ばしたり平らにしたり艶を入れたりする

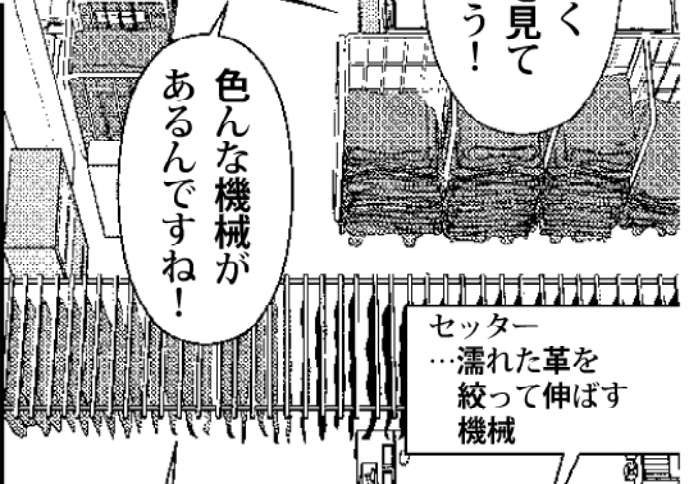
ではさつそくその様子を見ていきましょう!



揉むのを繰り返すことで模様が変わっていき「角シボ」「八方モミ」と変化していきます

「水シボ」といいいます

機械を通すことで皺のような模様が ついてますよね



色んな機械があるんですね!

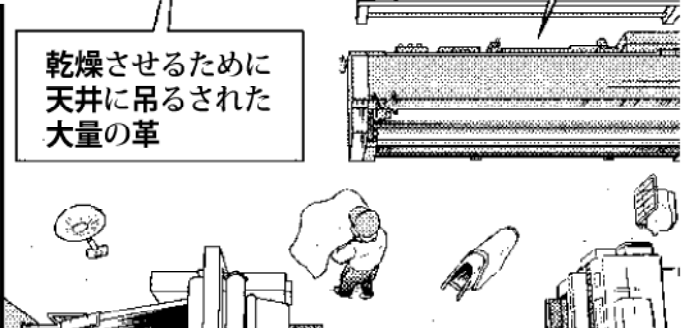
セッター…濡れた革を絞って伸ばす機械



革は厚さが一定ではないので微妙な力加減の調節が必要です

擦りつける

揉みシボは「フネ」という道具を使い手作業で行う加工所もあります



乾燥させるために天井に吊るされた大量の革

※1縞状の玉跡の一種 ※2リントンバクの種類

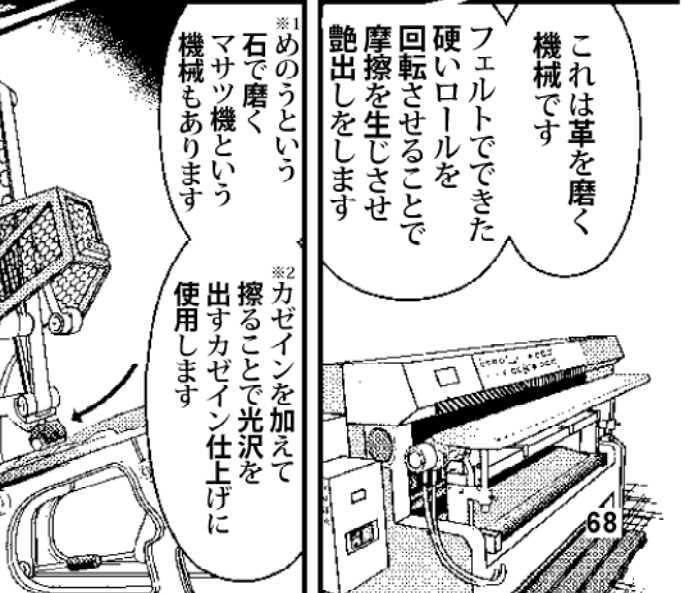


なんだか匂いも革っぽくなってきましたね

三段階の塗布濃度を使いわけ

擦りながら塗ることで革に薬剤を染み込ませていきます

薬剤の塗布にはロールコーターを使います



これは革を磨く機械です

フェルトでできた硬いロールを回転させることで摩擦を生じさせ艶出しをします

※1めこのうという石で磨くマサツ機という機械もあります

※2カゼインを加えて擦ることで光沢を出すカゼイン仕上げに使用します



下塗りなどは自動スプレーですが…

染色はスプレーで行うことが多いです



この大きな機械はなんですか?!

タイコといって中に革を入れて回転させることで染色したり揉んだりする機械です

弊社では作業工程上染色タイコよりも揉み用の空タイコが多くあります

※染料などは入れずに、革のみで稼働させるタイコ



この方はインクジェットプリンター

柄の方は職人による手塗りですね

こっこの柄や絵はどうやって入れてるんですか？



最終的な色の微調整は手吹きスプレーで行っています

革の染色は同じ色に仕上がらないことが多いため必要な作業なんです

これは職人技ですね！



他にもレーザー加工による彫刻や型ぬきも可能です

これはイタリアで開催された靴の展示会で配布したしおりですがなかなか好評だったようです

へえ！

ハイテクと職人技が共存しているんですね



一方手塗りは時間と手間がかかりますが染料が革に染み込むためプリンターでは表現できない深みを出すことができます



プリンターは他の加工と組み合わせることで表現の幅が広がります

革に適した色に調整をしたのち複数のサンプルの中からイメージに近いものを選んでもらっています

パソコンで色を調整中



あんなふう
に研究や実験も
頻繁にやって
ますよ

大変ですけどこの
組み合わせによって
他にはない革を市場に
提案することが
可能なんです

アイロンで柄の
フィルムを貼る実験中



などなど色々な
工程があるのですが
これらに一律な
順番はありません

細かな
やり方も
製品ごとに
異なります

えーっ!?



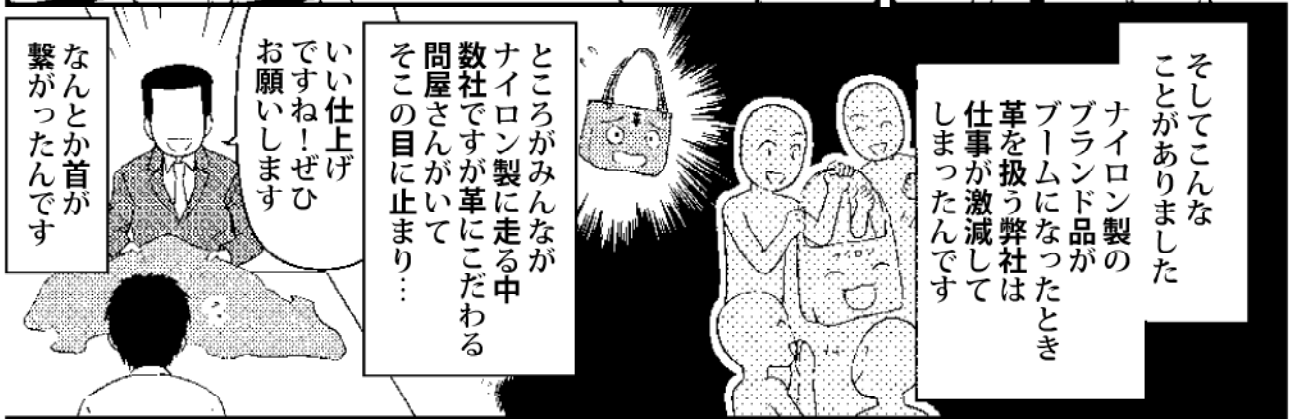
その工場長の
影響が大きい
ですね

普通に
色を塗る
だけじゃ
ダメだ!

昔から常に価格競争
という環境におかれ
差別化は大事でした
そんな中弊社は当時の
工場長が他ではやらない
革づくりを主張したこと
で続けていくことができたんです



なぜそこまで
表情のある革に
こだわらるんですか?



なんとか首が
繋がったんです

いい仕上げ
ですね!ぜひ
お願いします

ところがみんなが
ナイロン製に走る中
弊社ですが革にこだわる
問屋さんがいて
その目に止まり...

そしてこんな
ことがありました
ナイロン製の
ブランド品が
ブームになったとき
革を扱う弊社は
仕事が激減して
しまったんです



今も国内需要は
多品種小ロットの傾向が
強まっていますから
それに対応できるよう
日々努力しています

なるほど!!

人と違うことを
考える人達のニーズに
応えられる存在として
「長坂の革」は知られて
いったわけです!

ただ革と
いうのは本当に
扱いが難しい
製品です

ほんの少しの差で
お客様のイメージと
違ってしまうことも
ありますし…

時には革の持つ
特長が良さとして
伝わらない場合も
あります

色にムラが
あります

それは
その色
でござい
ます

そのギャップをどう
埋めていくかですね

革の性質などを
ちゃんと説明して
理解してもらっ
たのも大切です

加工だけが
仕事では
ないんですね

ぞーか…

だいたい
わかっていま
すけど

※階段展示コーナー

昔に比べて日本の
革製品のつくり手も
色々な価値観を持つ
ようになりました

一方でユーザーの革に
対する見方も機能性
からファッション性へと
変わりつつある
ように思います

うーん
表情豊か

そんな今だからこそ
革本来の良さを
積極的にアピールして
いきたいですね